

- 「誰もが輝ける学校」
- ・時を守り（時間をまもろう）
  - ・場を清め（せいとんをしよう）
  - ・礼を正す（あいさつをしよう）

# 大室小だより

日光市立大室小学校だより  
2020（令和2）年9月号  
<http://www.nikko.ed.jp/ohmuro/>  
**One for all, All for one.**

## 「PTA奉仕作業」お世話になりました

運動会に向けた環境整備のために、8月30日（日）にPTAの奉仕作業を実施していただきました。180名ものPTAの皆様にご協力いただき、校庭や学校周辺、例年運動会駐車場としてお借りしている空き地の除草、樹木の剪定などをお手伝いいただきました。今年も多くの子どもたちが参加し、児童と保護者の皆様の力を結集した作業のおかげで、学校のまわりがとてもきれいになりました。暑い中、ご協力ありがとうございました。

運動会に向けてみんな熱心に



校舎のまわりがピカピカ



早朝より多くのご参加ありがとうございました

## 短くても充実した夏休みに・・・



古代文字「楽」

7月31日今年の終業式は、古代文字の「楽」の字を各教室に掲示し、密を避けるために放送室から話をしました。「楽」という字は、鈴を手にして踊りを捧げ、神様を楽しませた神事の、鈴の形をもとに作られたそうです。今年の夏休みは短いですが、夏休みを楽しく過ごすためには「3つの鈴」、①「元気の鈴」、②「勉強の鈴」、③「仲良しの鈴」を鳴らせるようにがんばってくださいと話をしました。そして、「校長室の前に『3つの鈴』を用意しておくので、夏休みが終わったらちゃんとできた人は鳴らしに来て下さい。」と伝えました。始業式の日から、たくさんの子が、毎日さわやかな音で鈴を鳴らしてくれています。



1	木	安全点検
2	金	喫煙防止教室（4年）委員会 PTA本部役員会
3	土	
4	日	
5	月	朝礼 耳鼻科検診
6	火	内科検診（1・2年）
7	水	現職教育
8	木	家庭教育学級
9	金	クラブ
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	臨海自然教室（5年）
15	木	盲導犬教室（4年）
16	金	↓
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	避難訓練
21	水	就学時検診
22	木	さつまいも収穫
23	金	クラブ
24	土	
25	日	
26	月	社会科見学（3年）
27	火	生活科見学（1年）
28	水	現職教育
29	木	
30	金	月末統計 クラブ
31	土	

## 2学期にがんばりたい「さんかく」とは??

始業式の講話でみんなに頑張ってもらいたい「さんかく」という話をしました。○◇△の三角ではありません。2学期をよく過ごすための「3つのかく」とは、①汗をかく（一生懸命取り組む）②字を書く（勉強をする）③恥をかく（間違いを恐れずに挑戦する）という意味の3つの「かく」です。一人ひとりが3つの「かく」に取り組んで、すばらしい2学期になることを期待しています。



校長室前の「さんかく」



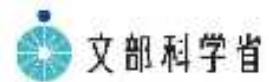
## <ご注意下さい>校舎の屋根・外壁工事中

北校舎の屋根と外壁の改修工事中です。工事関係車両の出入りや、工事に係る騒音など、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。工期は、令和3年1月頃までの予定です。



校舎周辺の工事の様子

新型コロナウイルスに感染した方だけでなく、家族や勤務先などへの心ない誹謗中傷が続いています。本校では、全ての児童の人権を守るために、感染症に対する正しい理解を促進するとともに、新しい生活様式を実践し、偏見や差別を許さない子どもの育成を目指していきたいと思います。ご家庭や地域の皆様におかれましても、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せず、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。

令和二年八月  
文部科学大臣 萩生田 光一